

## 平成 29 年度 事業計画書

### ① 学術講演会等の開催（公益目的事業 1）

- ・平成 29 年度通常総会を下記のとおり行う。

開催日 平成 29 年 6 月 9 日

場 所 牛込筆筥区民ホール（東京都新宿区）

議 案 平成 28 年度事業報告および同決算報告

平成 29～30 年度役員を選出

平成 29 年度総会シンポジウム（同日開催）を下記のとおり行う

内 容 シンポジウム 3 題

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN 2017 食の安全・科学フォーラム 第 16 回セミナー&国際シンポジウム」

を下記のとおり行う。

開催日 平成 29 年 5 月 24 日

場 所 東京ビッグサイト

内 容 グローバルマーケットにおける食品のトータルな安全管理

第一部 世界の食品安全管理

第二部 日本から安全な食品を世界に発信するには

- ・第 1 回分析セミナーを下記のとおり行う。

[テーマ：食品安全の為のスクリーニング分析について考える]

開催日 平成 29 年 9 月 7 日

場 所 幕張メッセ国際会議場

- ・第 113 回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行う。

開催日 平成 29 年 11 月 9 日、10 日

場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）

参加予定者数 約 600 名

- ・特別シンポジウムを下記のとおり行う。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

- ・関連学会等との共催、協賛および後援を行う。

### ② 学会誌等の発行（公益目的事業 2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行する。

食品衛生学雑誌 (6冊)	第 58 卷 2 号～6 号	発行部数	2,100 部
	第 59 卷 1 号	発行部数	2,250 部
第 113 回学術講演会要旨集		発行部数	900 部

③ 研究業績に対する表彰 (公益目的事業 3)

- ・平成 29 年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第 113 回学術講演会において下記のとおり行う。

「学会賞受賞者」

小西良子(麻布大学)

「食品を汚染する真菌性および寄生虫性危害要因の検出法開発とリスク評価に関する研究」

「奨励賞受賞者」

阿部 裕(国立医薬品食品衛生研究所)

「乳幼児玩具および食品用器具・容器包装に含まれる化学物質の実態調査に関する研究」

吉成知也(国立医薬品食品衛生研究所)

「フザリウムトキシンの分析法の開発および汚染実態調査に関する研究」

- ・食品衛生学雑誌第 57 卷論文賞授賞式を第 113 回学術講演会において下記のとおり行う。

「陰膳方式によるトータルダイエツト試料中放射性セシウムおよび放射性カリウム摂取量推定および経年変化 (2011～2014 年度) (報文)」第 57 卷第 1 号 p. 7～12 廣川大志郎 大森聖太 西村紀明 吉田和郎 和田伊知朗 山越昭弘\* (日本生活協同組合連合会 商品検査センター)

「食品中自由水に含まれるトリチウムの共沸蒸留による分離・分析法 (報文)」第 57 卷第 4 号 p. 81～88 曾我慶介\* 亀井俊之 蜂須賀暁子 最上 (西卷) 知子 (国立医薬品食品衛生研究所)

「HPLC による乳幼児用粘土から溶出する着色料の分析 (報文)」第 57 卷第 5 号 p. 139～149 岸 映里\* 尾崎麻子 大嶋智子 山野哲夫 (大阪市立環境科学研究所)

④ 若手研究者育成事業 (公益目的事業 4)

- ・平成 29 年度厚生労働科学研究 (食品の安全確保推進研究事業) の若手研究者育成事業の公募に応募し採用された場合、補助事業者として若手研究者を採用する。